科目名	国際経済学 B　　International Economics B						
科目担当者	藏屋 滉平　　KURAYA Kohei						
単位数	2	配当年次	3 年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	国際金融とは国境を越えた「おカネ」の取引のことである。経済取引の金融的側面を中心に議論する分野である。国際貿易はミクロ的な枠組であったのに対し、国際金融はマクロ的な枠組を応用する。 「おカネ」は経済活動における血液である。血液の循環が悪くなると、体全体、つまり世界経済に不調が生じる。本講義では世界経済に生じる様々な問題を解決するための理論的な枠組を示すものである。 講義で扱う論点は繋がっているため欠席をせず受講してほしい。						
授業の到達目標	①国際収支、為替レートがどのように動いているか理解する。 ②為替レートがどのように決定されるか理解する。 ③マンデル＝フレミング・モデルを用いた経済政策の効果を理解する。 ④経済関連の報道を理解できるようになる。						

授業計画・内容		
	1	国際経済学とは
	2	国際金融論
	3	国際金融論
	4	外国為替
	5	先渡取引とオプション取引
	6	短期為替レート決定理論
	7	長期為替レート決定理論
	8	経常収支について
	9	経常収支について
	10	マクロ経済政策
	11	マンデル＝フレミング・モデル
	12	マンデル＝フレミング・モデル
	13	国際資本移動
	14	今後の国際経済
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	事前に配布した資料に目を通し、次回学習する内容のイメージを持っておく。また疑問点は調べておくこと。（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	毎時間、配布資料とは別に授業内容を整理したノートを作成することが望ましい。 質問を歓迎する。（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験	100%	①②③④

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	資料を配布
参考文献	
その他	公務員試験（上級行政職）の受験を考えている学生は受講を勧める。